

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2017. 7. 4)

三鷹市議会議員

# 野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.101

## ◆東京都議会議員選挙が終わって

メディアの前宣伝の通りに、小池百合子都知事率いる都民ファーストの会が圧勝した。推薦を受けて当選した無所属の6人を追加公認し、合計55人となった。

3日、小池都知事は都民ファーストの会の代表を辞任。結局、代表就任は選挙の看板になるためだったといえる。小池氏は自民党に離党届を出したが、実は自民党では幹事長預かりのまま、実際には離党扱いになっていなかった。それもこれも選挙戦略だったのだと思う。

今回の都民ファーストの当選者の半分近くが全くの新人。しかも地元で活動も暮らしもしていない議員が多く誕生した。住民とつながる回路を持たない議員がどのような仕事をするのだろうか？都の施策は都民の暮らしに直結するものが多い。「賢い支出」というが、国家戦略特区のようなグローバル企業に利する政策のみが推進され、福祉削減、管理強化、企業優遇の規制緩和が進むのではないかと危惧している。今後、小池氏は区市町村長や議員選挙にも候補者を擁立するという。大勢の「希望の塾」合格者に対する受け皿が必要なのだろう。しかし、ほんとうにそこで暮らし住民の声に寄りそ



う政治ができるのだろうか。三鷹の新人の今後の地元での動きも含めチェックしていきたい。一方で、女性議員は36人(28.6%)に増えた。都民ファーストの会が17人で、若い新人が多い。どのような変化がでるのかどうか、こちらもしっかり見極めていく必要がある。



## ■6月議会(2017年第2回定例会)

### ◆市庁舎・議場棟等建替え検討特別委員会が、ようやく設置された。投票の結果、委員長に粕谷稔議員、副委員長は野村となった。

第1回目の委員会は7月13日に開会される予定。重要な問題を扱う委員会、しっかりやりたい。

### ◆空き家等対策協議会条例

本会議4日目、委員会付託に際して質疑を行い、公平性専門性を担保する等の丁寧な市長答弁があった。

最終日の採決では、第三者機関として、個人の人権尊重する慎重な審議を求める賛成討論を行う。



### ◆農業委員会の委員の任命

即決議案の20本の議案に一括で伊沢議員が質疑。その後、農業委員の市長任命制度に反対する立場から、賛否の判断はできないとして退席。

### ◆一般会計補正予算(第1号)。

○児童遊園を約1億2千万円で購入。そのため、新たに1億5百万円借金。

従来は土地開発公社で取得し、補助金活用するなど分割して買い戻していた。しかし、既存の公園用地(借地)購入は、公有地の拡大の推進に関する法律にそぐわないと総務省から指摘された！(新規に更地を買うことはできる)三鷹市の公有地取得のあり方を根本から変える問題を質疑。「今後は有効活用の指針を作るなど計画的に進められるよう検討」と答弁。今後は注視する。



### ◆大沢グラウンド夜間照明設備の工事契約。

野川グラウンドが調整池工事で使えない窮状を訴え、懸案の国立天文台からの承諾を得た。

### ◆旧社会教育会館解体工事。売却を前提に

樹木も伐採し更地にする。今後の教室不足対策等が必要と売却に反対し、解体工事にも反対。

## ■外環特別委員会

★市は、北野の里（仮称）の実現に向けた要望書を、国土交通省道路局長及び関東地方整備局長宛に提出。「整備計画」策定にあたり5項目を要望。

## ■議員提案意見書

★野村提案「刑法性犯罪改正のさらなる改正を求める意見書」全員賛成で可決。

★伊沢提案「共謀罪の強行採決に抗議し、廃止を求める意見書」：自公維が反対し否決。

## ◆「四小学童の新設とむらさき子ども広場へのランドセル来館を求める陳情」が配布された。

ランドセル来館は、子どもが学校から直接児童館に行き、指導員がランドセルを預かり居場所確認をする。子どもの責任を誰が持つかが問題となるが、事前登録することで明確になると思う。学童待機児に対する緊急処置として各地に広がる取り組み。東京都も補助を始めた。四小学区は学童と児童館が同じ場所なのでより有効。担当者は夏休みの居場所事業を検証してからと答弁。

## ●議員報酬2重取りを寄付。

議員報酬の他にもらうふじみ衛生組合議員報酬と都市計画審議会報酬、報酬の2重取りとして三鷹市以外の団体に30万940円を寄付。いわき放射能市民測定室、FoE Japan、未来の福島こども基金。外国人と共に生きる会コムスタカ(熊本)、セーブ・ザ・チルドレン子ども基金。女子高校生サポートセンターコラボ、人身取引被害者サポートライトハウス、あすのばの8団体。福島や熊本の被災者支援、若年女性支援や子どもの貧困支援などの活動に役立ててもらおう。



## ◆三鷹市立特別養護老人ホームどんぐり山

★6/1, 2；一般質問で、嶋崎議員、森議員がとりあげ、どんぐり山の設置目的や、この間の市側の答弁のあり方を問う。

★6/13、厚生委員会において、伊沢議員が質疑。公的な責任のあり方を問う。

☆6/4、デイサービスとショートステイ利用者と家族向け説明会では、「この規模では、効率的な運営は困難。新しい施設は130床あり、どんぐり山への赤字分で、新施設の市の負担分がまかなえると財政的な理由を繰り返すのみ。

☆6/18地域住民向け説明会。冒頭40分間、市長が「あらまし」を説明。そのまま退席しようとする。市民が質問と声を上げ、ようやく1問のみと立ち止まる。納得できない市民の声を聞こうともしない市長の姿勢に愕然。

☆「三鷹市の特別養護老人ホームを考える会」の、説明会の開催とどんぐり山の存続を求める市長宛請願署名は、1032筆提出されたという。



## ○6/25(日)「エコマルシェ」開催



NPOみたか市民協同発電は、6月の環境月間にちなみ三鷹中央通りM-マルシェ内で、環境問題を一緒に考える「エコマルシェ」を開催。環境をテーマにした団体、事業者11軒が出店（出展）。クイズラリー・イベント・展示・ワークショップなどで午後のひとときを楽しんだ。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.101  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104  
Tel&Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
Twitter: @hitujinomura

